

15. レム睡眠行動異常症の1症例における高次脳機能の評価と考察

¹⁾ 大学病院睡眠医療センター, ²⁾ 看護学部看護医科学 (病態治療), ³⁾ 看護学部看護医科学 (基礎), ⁴⁾ 内科学 (神経), ⁵⁾ 耳鼻咽喉・頭頸部外科学, ⁶⁾ 内科学 (心臓・血管), ⁷⁾ 越谷病院神経内科
宮本雅之^{1,2)}, 内田幸介³⁾, 鈴木圭輔^{1,4)}, 中島逸男^{1,5)}, 有川拓男^{1,6)}, 平田幸一⁴⁾, 春名眞一^{1,5)}, 宮本智之⁷⁾

【緒言】レム睡眠行動異常症 (REM sleep behavior disorder: RBD) は, レム睡眠関連の睡眠時随伴症のひとつであり, 悪夢に伴う行動により患者自身とベッドパートナーに外傷 (sleep related injury) を起こしうる睡眠関連疾患である. RBD の特発性例では, レビー小体病理を背景にした認知機能異常がみられることがあり, 軽度認知機能障害 (MCI) の合併率も高く, 一部の症例では, シヌクレイノパチー (パーキンソン病, レビー小体型認知症, 多系統萎縮症) の発症リスクをもつ.

今回, 特発性 RBD の1症例において, 神経心理検査による高次脳機能の評価を行った例を報告する.

症例: 67歳, 男性 (教育歴12年). 主訴は, 睡眠中の異常行動. 既往歴は, 高尿酸血症. 経過は, 56歳頃~嗅覚の減退, 58歳~動悸, 嘔気, 倦怠感, 不眠などの身体的不調を自覚し, 近医精神科にてうつ病の診断をうけ, 抗うつ薬等による治療が開始された. 65歳頃~寝言, 67歳頃~睡眠中に腕を払う, 叩く, 蹴るなどの動作も認めるようになった. 動作時に覚醒を促すと速やかに目覚め, 夢と行動の内容の再現が可能で, 幻視はなかった. 身長159cm, 体重60kg. 神経所見で, 明らかなパーキンソン症候はなかったが, 嗅覚減退, 便秘を認め, ¹²³I-MIBG心筋シンチグラムでは心臓交感神経機能異常の所見がみられた. 睡眠ポリグラフ検査にて筋緊張低下を伴わないレム睡眠 (REM sleep without atonia: RWA) が検出された.

神経心理検査では, 前頭葉遂行機能障害, 注意計算障害, 視覚認知機能障害 (視空間/実行系の障害, 色彩識別力低下, 錯視) が検出され, レビー小体関連疾患に特徴的な認知機能低下の所見がみられた.

【結語】本症例では, 疾患背景にレビー小体関連病理が存在している可能性があり, レビー小体型認知症などのレビー小体関連疾患への進展に注意して経過をみて行く必要があると考えられる.

17. ドクターヘリと頭痛 Helicopter emergency medical service and headache

¹⁾ 内科学 (神経), ²⁾ 救急医学
星山栄成¹⁾, 辰元宗人¹⁾, 鈴木紫布¹⁾, 高嶋良太郎¹⁾, 平田幸一¹⁾, 大西俊彦²⁾, 青木秀和²⁾, 神津成紀²⁾, 和氣晃司²⁾, 小野一之²⁾

【背景と目的】ドクターヘリは, 医師や看護師を乗せて救急現場に向かい, 現場やヘリコプター機内で処置を行ない, 患者を病院へ運ぶヘリコプターである. 現在までにドクターヘリと頭痛に関連した報告はみられていない. 今回, 我々は, 当院へドクターヘリ出動のあった患者のうち, 頭痛を呈した症例について検討を行った.

【対象と方法】対象は, 2010年1月から2016年3月にドクターヘリの出動した件数 (患者数) のうち, 頭痛を主訴とした患者を対象とし, 後ろ向き調査を行った. 他院へ搬送され転帰が不明な症例, 施設間搬送は除外した.

【結果】ドクターヘリの出動した件数 (患者数) は3460例 (男性2300例, 女性1160例) であった. 原因疾患は, 外因性疾患1693例, 内因性疾患1484例であった. 内因性疾患のうち, 神経疾患は698例であった. 全症例を通して, 頭痛が主訴であったものは147例で, 内訳は, 一次性頭痛4例, 二次性頭痛141例, 不明2例であった. 頭痛の原因疾患は, 頭部外傷54例, くも膜下出血33例, 脳出血30例, 脳梗塞5例, ホメオスターシス障害による頭痛5例, 片頭痛4例, てんかん3例, 未破裂脳動脈瘤2例, 精神疾患2例, 不明9例であった.

【考察】2015年度における栃木県のドクターヘリ出動件数は, 全国3位であった. 対応した疾患は多岐にわたるが, 「頭痛」が主訴であった患者は全体の4.2%と少なかった. その理由は, 頭痛のみの症状ではドクターヘリを要請せず, 神経症状が併存している場合にのみ要請しているためであった. しかし, 今回の調査結果は, ドクターヘリで搬送された頭痛患者の95.9%が重篤な疾患であった. よって, 頭痛のみの症状の場合でも, 症状が重篤と思われる場合は, ドクターヘリの要請を検討する必要がある.